

とき 平成三十年十一月十八日(日)午前十時始
ところ 福岡市中央区大濠公園一―五

大濠公園能樂堂

電話(〇九二)七一五二一五五

今村蛟龍会 秋の会

主催 今村蛟龍会

入場無料

ご来場歓迎

今村嘉伸
今村嘉太郎
今村哲朗

ご挨拶

菊花薫る季節 皆様におかれましてはますますご清祥のことと
心よりお喜び申し上げます。

さて、今年の今村蛟龍会・秋の会は「正尊」を門司道子様に
「西行桜」を井上幸子様に披かせて頂きます。

また舞囃子「高砂」を宮地美輔子様 「清経」を渡辺八郎様
「三井寺」を杉原京子様にご披露頂きます。

替ノ型

今回も名古屋の会員の方々のご出演頂き、会員一同精進を重ねて
まいりました。

ぜひこの機会にご高覧賜りたく御同好の方々お誘い合わせの上
御来場くださいますようお願い申し上げます。

平成三十年九月

今村 嘉伸

今村 嘉太郎

今村 哲朗

番組

素謡

吉野天人

加来 貴子

木原 溪太

経正

白石ひろみ

木月 晶子

田村

安藤 洋志

岩崎 至

井筒

中村三百子

今村嘉太郎

熊野

杉原 京子

末永 敦子

吉原 京子

渡辺 桂子

仕舞

経

正ギリ

佐々木大壺

天

鼓

副島 花凜

舞囃子

高

砂

宮地美輔子

白坂

保行

吉谷

潔

幸

正佳

森田

徳和

清

經

渡辺 八郎

白坂

保行

森田

徳和

幸

正佳

替ノ型

三井寺

杉原 京子

白坂

保行

森田

徳和

幸

正佳

素

謡

蟬

丸

的野悦子

大濱 一郎

今村

哲朗

葛

城

戸渡 敬子

宮地美輔子

仕

舞

紅葉狩

クセ

木原 溪太

杜

若クセ

末永敦子

吉野天人

加来贵子

鶴

龜

中村三百子

素

謡

披

正

尊

門司道子

今村嘉伸

起請文

今村嘉太郎
副島花凜
高梨万里

仕

舞

遊

行

柳クセ

的野悦子

忠

度

宮田浩一郎

羽

衣クセ

飯田真喜男

玉

之

段

大濱一郎

素 謡

披

西 行 桜

井上 幸子

松岡 豊

井内 政徳

葵 上

多久島法子

宮田浩一郎

今村 哲朗

木原 溪太

高 砂

今村 哲朗

飯田真喜男

渡辺 八郎

番外仕舞

笹 之 段 今村嘉太郎

笠 之 段 今村 哲朗

解説

仕舞 しまい

能の中の見せ場を紋付袴で舞う

舞囃子 まいばやし

能の中の主要部分を囃子入りで紋付袴で舞う

素謡 すうた

舞や囃子を加えずに、能の一曲を謡う

素謡 西行桜

都の男たちが、西山の西行の庵に花見へやって来ます。西行は花見を禁止にしていたのに、多くの人を庵室に迎えることになったので、桜のために静かな暮らしを乱されたと歌を詠みます。夜、西行の夢に老桜の精が現れ、桜に咎はないと述べ、都の桜の名所を挙げ、静かに舞を舞います。春の夜のひとときを惜しむと、やがて夜明けと共に消え失せてしまいました。

素謡 正尊

平家滅亡に功のあつた源義経は、兄・源頼朝より鎌倉入りを拒まれ、京都・堀川の邸に謹慎していました。そこに、頼朝の配下である土佐坊正尊が、鎌倉から上洛してきます。義経は、正尊が自分を討ちに来たと考え、家来の弁慶に命じて正尊を連れて来させました。刺客ではないかと問い詰める義経に對し、正尊は、熊野参詣のために通りがかつたと弁明します。さらに咄嗟に作り上げた起請文を読み上げました。義経は、それが偽りであると見抜いていましたが、その名文に感心し、宴席を設けて正尊を款待します。静御前の舞などで、手厚くもてなした後、正尊を宿所へと帰しました。

弁慶が女を派遣して、正尊の宿所を探らせると、折しも正尊の一行は、武器をそろえ、人や馬の手配をして、義経の邸を襲撃する準備に余念のない様子でした。それを知った義経は、弁慶はじめ家来とともに襲撃を待ち構えます。義経一同は、やがて攻めてきた正尊の軍を迎え討ち、激しい戦いの末に正尊を捕縛しました。

舞囃子 高砂

和歌の守護神・住吉明神が現れ、神徳を顕わして颯爽と舞を舞うと、人々に寿福を与えて治まる御代を祝福する。

舞囃子 清経

神からも見放され、敵に怯える日々を過ごしていた一門。運命を悟った彼は、月の夜、船の上で静かに笛を吹くと、念仏の声とともに身を投げたのであつた。戦で死ねば堕ちていたであろう修羅道の苦しみを語ると、そんな因果応報の世にあつて最期に唱えた念仏の功德により救われる身となったことを明かし、消えてゆくのだつた。

舞囃子 三井寺

清水寺に参籠する、一人の女。彼女が生き別れになつた息子との再会を祈っていると、近江国 三井寺へ行けとの夢告を得る。女は、さつそく近江へと旅立つてゆく。三井寺の鐘の澄んだ響きに感を催し、住職の制止を振り切つて自らも鐘を撞くと、八月十五夜の月光の下、鐘の風情に興じて舞い戯れる。



〒814-0032 福岡市早良区小田部一丁目十六ー二三

今村嘉伸

今村嘉太郎

今村哲朗

電話(〇九二)八四一四八〇〇